

ヨーロッパの概況 V スイスの横顔

町長視察記

十月十九日から十四日間のヨーロッパ視察をされた椎名町長は、最後の訪問国スイスを視察されました。スイスは十三世紀以来約七世紀の間中立国を守り続けています。また、七十三の国際機関が存在し精密工業などは日本とともに世界的に名声が高いです。

スイスは、世界の平和と

自国の安泰をねがう中立国

世界の平和と自国の安泰をねがって、中立を守り続けているスイスは、訪問した五ヶ国のうち、もっとも落ちつきのある国であった面積四一、二八八平方キロで、人口六二六万人、国際都市ジュネ

ーブは、レマン湖の南岸に在る世界的な観光地であるが、国際赤字本部、国際保険機関、国際労働機関、国際電波局など七十三の国際機関が存在し、特にかつての国際連盟本部は、国際連合ヨーロッパ本部として使用され、現在ではここですばしば国際会議も開催さ



(ホテルの前でスイス人の家族と記念撮影)

れている。

逐次強化の軍備と二十才にな

ると受ける皆兵は自国防衛

スイスは、十三世紀以来約七百年間中立を守り続け、一方自国防衛のため軍備は、逐次強化しつつある。

男子二十才になるとすべて十七週間の軍事訓練を義務づけられ、国民皆兵の実を上げているが、常備軍は幹部級約二、五〇〇人のみであって、四十八時間以内に予備役五十七万人の動員を可能としている。

中年の一女性は「軍隊は他国を攻撃するためではなく、自国を防御するためです。今でもそれを一貫していますが、他国から占領されたことはありません」と、自信に満ちた高い鼻を動かしていた。

モエシア町に遊ぶ、若いアベックは中立を守る安心した姿

フランス国境の町、モエシワを通過する若いアベックは、腕を組みながら国境のゲートにたわむれていたが、中立を守る人々の安心した姿でもあった。

「日本人は礼儀正しく、時間をよく守る人だ」と評価

スイスの人々の対日感情は特によく「日本人は礼儀正しく、時間をよく守る人だ、ドイツ人もそうであるが、スペイン人はだらしない」と評価していた。

彼らは晩婚で、いつまでも

若さを楽しむ

彼らは結婚がおそく、子供は多くて二人であり、いつまでも若さをたのしんでいるようであった。

平和な国柄がそうさせるのかと思われた。

農業はすべて機械化され

農作物は果物類が主

スイスの農業はすべて機械化され耕地も広く、親子三人が大型トラクターに乗って畑を耕しているなどやかな姿も見受けられ、広い牧場には牛馬が豊かに放牧されていた。

農作物はムギ類、野菜、リンゴ西洋ナシ、モモなどの果物類が主

東南アジア五カ国の姿

シンガポール・インドネシア
タイ・南ベトナム・香港

伊藤さんの視察記

千葉県政百年記念行事として行なわれた千葉県青少年相談海外派遣団員(団長以下十八名)は、昨年十一月二十九日から十二日間、東南アジア五ヶ国の青年たちと交歓会や施設などを視察して来ました。当町からは尾垂の伊藤暢章さんが参加し、ルポして来ましたので各国の様子を追ってみましょう。

【シンガポール】

まず、シンガポールに来て目に付くことは、町全体が公園のように美しいことです。道幅は広く街路樹は青々と繁り、ハイビスカスやジャスマインの花が咲きはこり、どこへ行ってもゴミ一つない町です。

であった。

ウラン鉱脈があり

機械工業が発達

注目すべきはウラン鉱脈があり機械工業が発達し、時計などの精密工業や機械工具、化学製品、手芸品などの生産が盛んである。

哲人ルソーの教えが、現在も

なおそのままに生きている平和で国民生活の安定しているスイスは「人間の本性は善であるそれを社会が墮落させている。この救済手段は、自然に還えさなければならぬ」と、主張したジュネーブ生れの哲人ルソーの教えが生きていた。

それは、政府が一段と美化に力を入れていくからです。どんな木でも政府の許可がなければ、切る事は出来ないという。煙草の吸いながらどんな小さなゴミまで捨てれば五十ドルの罰金だそうです

子供たちは、その美しい自然の中で、のびのびと。(四ページへ)